

この瞬間にために

ROCKFISH FISHING EQUIPMENT

**HEXA SINKER / ROCKY HOOK
CATCH ON BEADS / EARLY SNAP
CHOU KAITEN LURE SWIVEL**

CONSEPT

必然から生まれたカタチ

ロックフィッシュも多様化する中で、基本的に立ち返るテキサスリグの位置づけとなる「ヘキサンサー」。「止める」「乗せる」「すり抜ける」、「フォール時のイレギュラーアクション」などシーンに合わせ使い分ける事ができる。ロックフィッシュで必ず向き合わなければならない「根掛かり」においてフックという視点で設計されたのが「ロッキーフック」。細軸の設計にロングシャンク、扁平ボディーワームとの相性抜群、かつツッキングも優秀。あえて根掛かりやすいフックのデメリットを凌駕するメリットがこのフックにはある。細軸仕様でありながらタフなやり取りでもしっかりとキャッチできる強靭さは実証済。あと一歩、魚にバイトさせるまでの一手、より長くアプローチしたい、ミスバイトからのセカンドバイトに繋げるワームホールド力等、「偶然から必然」に変える為の両輪アイテムが生まれた。

HEXA SINKER ヘキサンサー



多面体でボトム感度UP!

多面体形状からなるボトム感度の良さ、ストラクチャーとの干渉具合とすり抜け、また喰わせたい所でしっかりとシンカーをストップさせ、無駄な動きを抑えることで根掛かり軽減、オープンエリアでのリーリングや壁際での釣りに威力を發揮する。



CATCH ON BEADS キャッチオンビーズ



結び目をまもる! ワームホルダーにも活用!

ロックフィッシュ基本形のテキサスリグにおいてシンカーがフックの結び目に当たる衝撃は避けられない。その衝撃を少しでも和らげる隠し玉としてキャッチオンビーズが登場。また、ワームをしっかりキープセカンドバイトに繋げる事ができるワームキーパーの役割も可能に二役の活躍してくれるロックフィッシュに打ってつけビーズ。



Kenta Mikami

Ryoma Tanabe

ROCKY HOOK ロッキーフック



クランク角度で ワームホールドUP!

「ロッキーフック」は根掛かりしづらいフック設計。タフコンディションになればなる程、ヨリストラクチャーに対してタイトに攻める必要がある。あえて細軸設計にすることでより困難な状況から魚を引き出すことが可能で刺さりも良く、ワーム本来のナチュラルなアクションを生み出せる設計だし、ロングシャンクからなるワームホールド力も優秀。



品番 KH-01 カラー ブラック



品番 KH-02 カラー SPコート

EARLY SNAP アーリースナップ

EASY! QUICK! GOOD!



ルアーローテーションが 簡単、素早くできる!

スナップの役割はラインルアー、あるいはフックを接続するハーツとして用いられる。出し入れしやすく、状況に合わせて素早くルアー、フックの交換を可能にするアーリースナップはセッティングストレスも軽減してくれる便利グッズ。

ルアー、ジグヘッド、エギのローテーションが素早く簡単にできる挿入口

実物大 S M

SIZE SS S M 品番 CO-01 ケイムラ

穴径(mm) 0.6 0.8 0.8 CO-02 イエロー

入数 30 25 25 CO-03 ピンク

品番 HS-01

超回転 ルアンスイベル

SMOOTH & STRONG



回転性能1.5倍アップ!

ワームを使用するテキサスリグ、ロックフィッシングでは水中でのワーム回転は避けられないところ。そこでワーム回転によるラインの擦りを減少させるアイテムが超回転スイベル。スプリットリングとのセッティングでよりティーピー釣りを可能にする。

超精密ステン素材(カン部分)のためストロング强度

フック素コート加工により摩擦を減らし回転性能1.5倍UP(当社比)

実物大 6 7 8 10

LB 85 74 61 41

kg 39 34 28 19

入数 10 10 10 10

品番 SS-01

Kenta Mikami × KEI DREAMS

Profile

Kenta Mikami

三上 頭太

小学校の時に釣った40センチ越えのアマメに魅了されてからロックフィッシングの魅力に取りつかれ早27年。今でもその熱は留まることなく、北海道内のロックフィッシュを年中追いかけています。ロックフィッシングを通じて、広大な自然が残るこの北海道の魅力を伝えるべく、日々奮闘中。ロックフィッシュトーナメントにも積極的に参戦中。愛称は「ミカケン」五児の父としても子育てに奮闘中。

近年、ロックフィッシングも投入されるリグユラーアーが多様化し、アングラーソーソーの選択肢の幅が劇的に広がった。ロックフィッシュの基本となる「リグ」と言えば、「テキサスリグ」が代表的なが、様々なリグがある中で基本的に立ち返り改めてテキサスリグの必要性を再確認しない、そんな思いで登場したのが「ヘキサンサー」。多面体形状からなるボトム感度の良さ、ロックフィッシングには欠かせない、ストラクチャーアーとの干渉具合とすり抜け、また喰わせたい所でしっかりとシンカーをストップさせ、無駄な動きを抑えることでの根掛かり軽減、オープンエリアでのリーリングや壁際での釣りに威力を発揮する。また、テキサスリグの利点を活かす為にも「フック」選びは重要で、特に「ロッキーフック」に求めたのは根掛かりやすいフック。タフコンディションになればなる程、ヨリストラクチャーに対してタイトに攻める必要があり、もう少し刺されればしっかりとバイトに持ち込めるのに根掛かりでワンチャンスを逃すといったシーンも多々ある。あえて細軸設計にすることでより困難な状況から魚を引き出すことが可能で刺さりも良く、ワーム本来のナチュラルなアクションを生み出せる設計とし、ロングシャンクからなるワームホールド力も優秀。ナロー形状であることからも扁平ボディーワームとの相性も◎、現場主義を徹底して幾度もテストを繰り返して「必然のカタチ」として造り上げたヘキサンサーとロッキーフック。エキスパートからビギナーの方までシーンに合わせ使い分け、ロックフィッシュを楽しんでいただきたい。

Ryoma Tanabe × KEI DREAMS

Profile

Ryoma Tanabe

田辺 陵 真

楽しい釣りをモットーに漁港でのロックフィッシングだけでなく、マイカヤックでのロックフィッシングも得意とし、ロックフィッシングのトーナメントにも参戦する。釣りをよくなし、釣行時の食巡りも好き。年中、北海道内を駆け巡りロックフィッシングを追いかける。

ロックフィッシングも多様化する中で、基本的に立ち返るテキサスリグの位置づけとなる「ヘキサンサー」。おかげば、沖堤防、カヤックなどでもシーンに合わせた投入はマストで、特に私が得意とするボトムのリーリングの釣り、壁際の釣りにおいてはなくてはならないシンカー。ヘキサンサーは通常セッティングも良いが、する掛けを向上させるなら逆付けセッティングもアクションとしては面白く、テキサスリグを扱う上のテクニックの一つとして、「ハンガオフ」もヘキサンサーならではの爆发力がある。この形状からストラクチャへの干渉具合、「止める」「乗せる」「すり抜ける」、「フォール時のイレギュラーアクション」などシーンに合わせ使い分けて頂きたい。「ロッキーフック」に関してはロックフィッシングでは必ず向き合わなければならぬ「根掛かり」においてフックという視点での根掛かりまさに驚愕した。それでいて、ツッキングも優秀で、細軸の設計にロングシャンク、扁平ボディーワームとの相性など、あえて根掛かりやすいフックのデメリットを凌駕するメリットがこのフックにはある。強度に間違つて細軸仕様でありますながら、カヤックフィッシングのフレッシュな魚とのやり取りでもしっかりとキャッチできるのは実証済。あと一歩、魚にバイトさせるまでの一手、より長くアプローチしたい、ミスバイトからのセカンドバイトに繋げるワームホールド力等、「偶然から必然」に変える為のアイテムとなっているので是非使っていただきたい。





KEI DREAMS



KEI DREAMS



KEI DREAMS



KEI DREAMS